

2022 autumn

Vol.6

# 技工室 だより

大阪大学歯学部附属病院総合技工室の  
活動をお伝えします！



10月から研修後期が始まり、研修生も自分のやりたい技工を選択して取り組んでいます。

4月～9月の半年で歯冠、有床どちらも取り組み、10月からはより深く学びたい分野を  
専攻する研修生が大半でした。

半年の研修を経て自分の進みたい方向性が定まった研修生は、就職活動も積極的に行っており、  
就職先が決定した研修生もいます。当技工室では毎年多くの技工所や歯科医院から求人票を  
いただいているので、自分に合った就職先が見つかると思います。

もうすぐ 2022 年も終わりますが、技工室全員が元気で新年を迎えられるよう、今年度も最後  
まで頑張ります！





## 研修生

・ 11月15日

歯科技工研修生の江花和樹君（継続2年目）が、和田精密歯研株式会社が主催する

「第13回歯科技工G1グランプリ」<http://www.labowada.co.jp/G1/contest.html>の

「専攻科・研修科部門」で優秀賞（2位）を受賞しました。

歴代の歯科技工研修生の中でも、入賞したのは江花君が初めてです。

受賞作品は香川県高松市にある「歯ART美術館」<http://ha-art.com/>に1年間展示されます。

ぜひ足を運んでみてください！



左から和田精密歯研(株)の大野徹専務取締役、江花君、総合技工室長の池邊一典教授





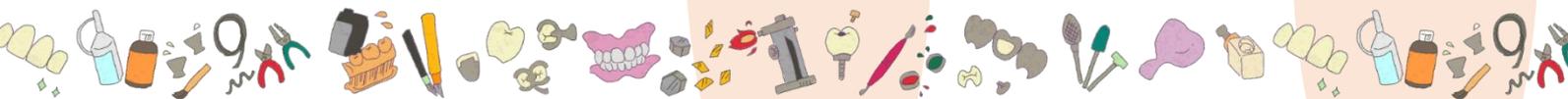
授賞式は弓倉準備室で  
行われました



研修時間終了後も自主的に残って模型と向き合い、

最後の最後まで形態を突き詰めていました。

担当職員から見ても、毎日自主的に頑張っていて努力家だと  
感心しました。本当におめでとうございます！

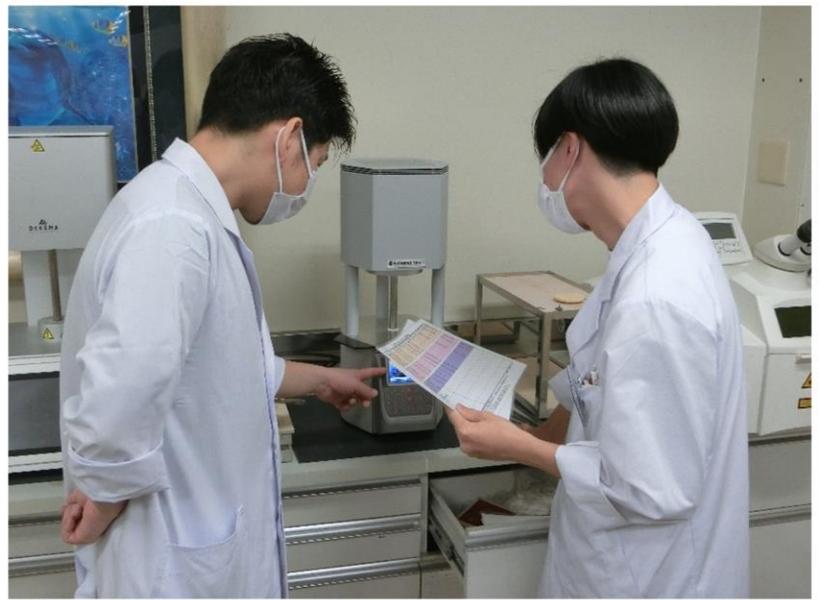


1年目の研修生も半年の経験を経て実践的なスキルをしっかりと身につけ、

自費のケースもたくさん取り組んでいます。

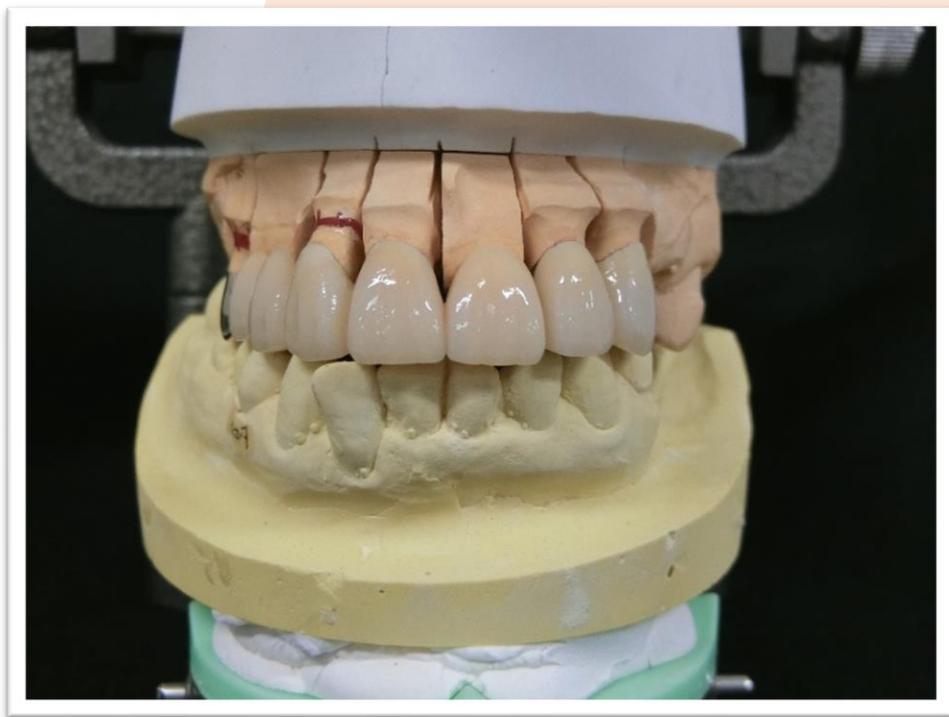
後期からは歯学部教員の座学も始まり、忙しい日々を過ごしています。

担当職員の指示を仰ぎ、  
真剣に取り組んでいます





デンチャーのケースも  
たくさん取り組んでいます



研修2年目になると、大きなケースも職員の修正もほぼなしで  
完成まで仕上げられるようになりました。



## 職員

・7月4日～

大阪大学歯学部附属歯科技工士学校の学生さんたちに CAD/CAM 実習を行いました。

一対一での指導だったのでじっくり取り組むことができ、各々いろいろなツールを使ってデザインをしていました。

初めて触る機会に興味津々でたくさん質問をしていただき、楽しい時間を過ごせました。

